

平成 28 年 4 月 6 日

各 位

経営者顕彰財団

### 第 43 回（平成 27 年度）経営者賞受賞者決定のお知らせ

公益財団法人 経営者顕彰財団（理事長 久保田 勇夫）は、九州・山口地方において中小企業の経営・技術に優れた業績をおさめ、地域経済の発展に貢献のあった経営者の方を表彰しています。

このたび、平成 27 年度の受賞者が決定しましたので、お知らせします。

記

#### ■ 受賞者 ※賞状、副賞を贈呈

受賞者氏名・企業名・役職	地域	受賞理由
いまむら たけじ 今村 健二 株式会社オーレック 代表取締役社長 (1952 年 7 月 5 日生、63 歳)	八女郡 広川町 (福岡県)	1. 同社は、1948 年（昭和 23 年）に大橋農機製作所として創業。動力脱穀機・小型製縄機の製作を開始。1988 年（昭和 63 年）、同氏が社長に就任し、(株)オーレックと社名変更。環境緑化、家庭菜園、園芸用のエンジン付アウトドア省力機器において、設計開発から生産、販売までを一貫して行い、製品数は 80 種以上、部品の内製率 8 割、海外販売比率 2 割を誇り、現在、車輪付小型草刈り機は国内シェア 4 割のトップ企業に成長していること。 2. 同氏は、創業者である先代の今村隆起氏のモノづくりの気概を受継ぎ、徹底した現場主義、創意工夫をモットーに、海外にも意欲的に事業を拡げている。現在は、自らが世の中に役立つ人材育成のため社員教育に注力していること。

<p style="text-align: center;"> <small>かおべ てつじ</small>        河邊 哲司        久原本家グループ        社主        (1955年4月17日生、60歳)     </p>	<p style="text-align: center;">       糟屋郡        久山町        (福岡県)     </p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1893年(明治26年)の創業以来、120年を経て着実に発展。特に4代目となる同氏が1996年(平成8年)に社長就任後は、同氏入社当年商6,300万円(従業員6名)の事業規模から現在のグループ年商163億円(従業員850名)に成長を成し遂げ、通信販売のビジネスモデル構築、店舗レイアウトや商品包装などにおいて企業イメージを総合的に向上させ、変革を遂げていること。</li> <li>企業発展は、同氏の「モノ言わぬモノにモノ言わすモノづくり」の信念が原動力となっており、人の心と手間をかけた本当に美味しいものを提供し、永きにわたり感動を生み続ける会社を目指すというしっかりとした経営哲学があること。</li> </ol>
<p style="text-align: center;"> <small>よしみず たくみ</small>        吉水 卓見        特定医療法人 茜会        会長        (1942年8月1日、73歳)     </p>	<p style="text-align: center;">       下関市        (山口県)     </p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>同会は、個人で新規開業後、下関地区の有力病院の運営を第三者から承継し、次々と新規事業所・施設を開設して事業を拡大、下関市内の民間病院グループとしては最大のグループとして検診・外来、入院(除く急性期)、介護施設、在宅介護医療のすべてのステージに対応し、地域医療に不可欠の存在となっていること。</li> <li>同氏は、30年にわたり同会の経営基盤強化に努め、同会は30億円の内部留保、関連の暁会は50億円の純資産を有するグループに育てあげている。2010年(平成22年)には公益性を高める為、多額の出資持分を放棄し特定医療法人化。深刻な地域の医療体制に貢献するなど、私利私欲のない姿勢で献身的に医療に携わっていること。</li> </ol>

**【参考】**

**平成27年度候補者推薦状況**

九州・山口地方の各県・政令指定都市の行政機関、商工会議所、新聞社、西日本シティ銀行本支店等から平成27年10月末までに推薦を受けた候補の状況は以下のとおりです。

< 県別 >

	佐賀	熊本	宮崎	長崎	大分	鹿児島	山口	合計
20	1	2	1	—	—	—	1	25

本件に関するお問い合わせ先  
 公益財団法人経営者顕彰財団 事務局 河部・井口 いのくち  
 TEL 092-472-1676